

湘南鎌倉総合病院広報誌



医療法人 沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院

発行/湘南鎌倉総合病院

〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本1370-1



Vol. 79

2013年

10月号

Shonankamakura General Hospital

しょうなんメール

Contents

2P〈職員紹介〉

精神科部長 工藤 潤一郎

4P〈医療の話〉

糖尿病ってどんな病気？

6P〈救命救急センターより〉

当院の救命救急センターへ救急車で搬入された
救急患者さんの受け入れの実績

7P〈トピックス〉 患者さんの声

8P〈病院案内〉

理念

「生命を安心して預けられる病院」
「健康と生活を守る病院」

Help yourself
ご自由にどうぞ



医師紹介

Doctor introduction



自己紹介

皆さん、はじめまして。今年の4月から精神科に勤務している工藤潤一郎です。

私は昭和36年に東京都で生まれましたが、小学校からは鎌倉市で育ちました。稲村ガ崎小学校、御成中学校、湘南高等学校です。大学に進学する時に鎌倉市から離れましたが、昨年、約33年振りに実家に戻ってきました。

子どもを連れて散歩をしていると、故郷の風景がほとんど変わっていないことに驚かされることがあります。

精神科 部長

工藤 潤一郎
Kudo Junichiro

精神科部長、医学博士。精神保健指定医、日本精神神経学会専門医・指導医、臨床心理士。

1987年に名古屋大学医学部を卒業し、東京大学医学部附属病院分院神経科で研修、その後、名古屋大学医学部附属病院精神科医員、国立療養所東尾張病院医長、青山会青木病院診療部長などを経て、2013年4月に当院に勤務。

【趣味】

趣味は旅行と読書です。若い時には様々な国々を旅行しました。

旧ソビエト連邦とチェコ、ルーマニア、ハンガリーなどの東ヨーロッパ諸国がとても好きでした。真冬にロシア鉄道に乗ってバイカル湖に行ったこともありました。気温が氷点下35℃で、当時のカメラはコートで暖めないと動きませんでした。やはり真冬に、サハリン島の北緯50度線まで車で行ったこともありました。200mおきに旧ソビエトと日本の当時の国境を示す石が置いてありました。東西ベルリンの壁が崩壊した時にはベルリンを旅行しました。記念に壁を持って帰ろうと思っていましたが、コンクリートだったので崩すことができませんでした。どれも懐かしい思い出です。

この数年間は近隣にある水族館や動物園などに子どもを連れて出かけるくらいで、遠方に旅行することはなくなりましたが、同じくらいに楽しめています。

好きな作家は日本では安部公房と島尾敏雄、海外ではフランツ・カフカでした。カフカが亡くなったウーン近郊のサナトリウムにも行ったことがありますが、気持ちがとても穏やかになる場所でした。最近関心を持っているのは精神病患者さんが書いた日記や回顧録などです。

精神科（予約制です）

専門は精神科です。当院でも今年の4月から精神科の診療が始まりました。医師は私一人の小さな診療科です。外来日は（月）、（火）、（金）の午後1時からです。今までの精神科臨床の経験を活かしながら、統合失調症、気分障害（うつ病など）、神経症、学生相談などで受診される患者さんが少しずつ回復していけるように、また、希望を持って生活していけるように援助していきたいと思います。

初診、再診ともに他院に比べれば比較的ゆっくりとした診察枠です。できるだけ丁寧にお話を聴くように心がけています。お気軽にご相談にいらして下さい。

	月曜日	火曜日	金曜日
外来時間	13:00~17:00	13:00~17:00	13:00~17:00

※なお、アルコール依存症、薬物依存症などについては当科では対応できませんので専門の医療機関を受診なさして下さい。

糖尿病ってどんな病気？

diabetes mellitus: DM

■ 糖尿病とは

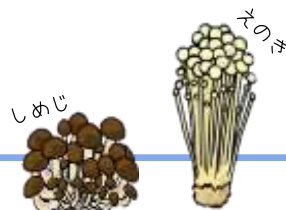
糖尿病は、「**血糖値が慢性的に高い**」ことによっておこる病気です。

食事をすると誰でも血糖値が上がりますが、その血糖値を調整しているのが「**インスリン**」というホルモンです。

インスリンは体の中で唯一血糖値を下げるホルモンです。このインスリンの働きが悪くなることで、血糖値の調整が出来なくなり、糖尿病が発症します。

始めのうちは自覚症状が現れにくく、検査をして初めてわかることが多いため「**検査の病気**」と言われます。また、高血糖が続くことによって血管が障害され、様々な合併症を起こすため「**血管の病気**」とも言われます。

糖尿病の治療は血糖値を下げるだけでなく、合併症の予防や進行を抑えることを目標にしています。それは、合併症が生活の質を落としたり、命までも落とすことに繋がるからです。でも、薬物療法の進歩により「糖尿病だから失明する」とか、「足を切断しなくてはならない」といった話は過去のものとなりつつあります。



糖尿病の合併症は「**しめじ**」と「**えのき**」

糖尿病三大合併症

- し：神経障害
- め：網膜症
- じ：腎症

大血管障害

- え：壊疽
- の：脳梗塞
- き：狭心症
虚血性心疾患

■ 日本では

日本では糖尿病の90%以上は**2型**糖尿病です。生活習慣病と言われているタイプです。

1型糖尿病は、インスリンを作り出す細胞が破壊されることによりインスリンが極端に少なくなるタイプで、生活習慣病とは異なります。しかし、どちらも**定期的な血液検査や合併症の検査を行い、治療を継続することが重要**です。

糖尿病では、主治医は自分自身と言われますが、日常生活の中での自己管理は時には（いつも？）大きな負担となり、投げだしたくなる時もあると思います。

私たち糖尿病医療チームは何時でもどこでも皆さんの力強いサポーターであり続けたいと思っています。

当院では、外来糖尿病教室、糖尿病教育入院を行っており、正しい知識の提供や生活の振り返り、治療の見直しを行い、かかりつけ医の先生方と連携を取りながら、地域全体で治療に取り組んでいます。

糖尿病教室、糖尿病教育入院をご希望の方はかかりつけの先生にご相談ください。



歯周病も糖尿病の第6の合併症と言われています。歯の定期検診もお忘れなく。



NEAT (ニート)

ニートとは、運動ではない日常生活での活動で消費されるエネルギーのことで、「NonExercise Activity Thermogenesis」の頭文字を取って「NEAT」と呼んでいます。

運動する時間がないという人でも、階段の上り下りや、立って家事や仕事をする、職場で用事がある時は自分から出向くなど、日常の中でこまめに体を動かすことでエネルギー消費量を増やすことができます。立っているだけでも横になっている時より20%エネルギー消費量がアップします。

帰りは、電車の一番遠い車両から乗ってみませんか？



知っていますか？

11月14日 世界糖尿病デー

世界糖尿病デーでは、世界各地の有名な建造物が、シンボルカラーのブルーにライトアップされ、糖尿病予防をよびかけています。

鎌倉 大仏



糖尿病は世界規模で増加の一途を辿っており、今や流行病とも言われています。世界の糖尿病人口は3億6600万人（成人の8%）で2030年には5億5000万人（成人の10%）に達すると予想されています。しかも、7秒に1人が糖尿病や糖尿病合併症が原因で亡くなっています。

糖尿病は世界規模で取り組むべき病気として、エイズや結核などの感染症以外では初めて国連総会で国連決議「糖尿病の全世界的脅威を認知する決議」に2006年12月20日に採択されました。そして、11月14日を「世界糖尿病デー」に指定し、毎年世界各地で糖尿病の予防・治療・療養に関するキャンペーンやイベントが行われています。

当院でも毎年行っており、今年も去年同様に糖尿病予防啓発へのご賛同をいただき、鎌倉の長谷寺で11月10日（日）に開催します（※）。

無料血糖測定、湘鎌愛情弁当（カロリー制限食）の販売、健康相談、栄養相談、運動相談など盛りだくさんの内容です。

糖尿病予防のきっかけにいただけると嬉しいです。

※長谷寺の入山料300円がかかります。



あなたの血糖値は
大丈夫ですか？
測ってみませんか？



鎌倉 長谷寺

糖尿病医療チーム



当院の救命救急センターへ救急車で搬入された救急患者さんの受け入れの実績

前回のしょうなんメールvol.78 2013年9月号では、当院の理念と救命救急センター（ER）の現状について、救命救急センター顧問の福田充宏医師と、同センター長の大淵尚医師にお話をいただきました。

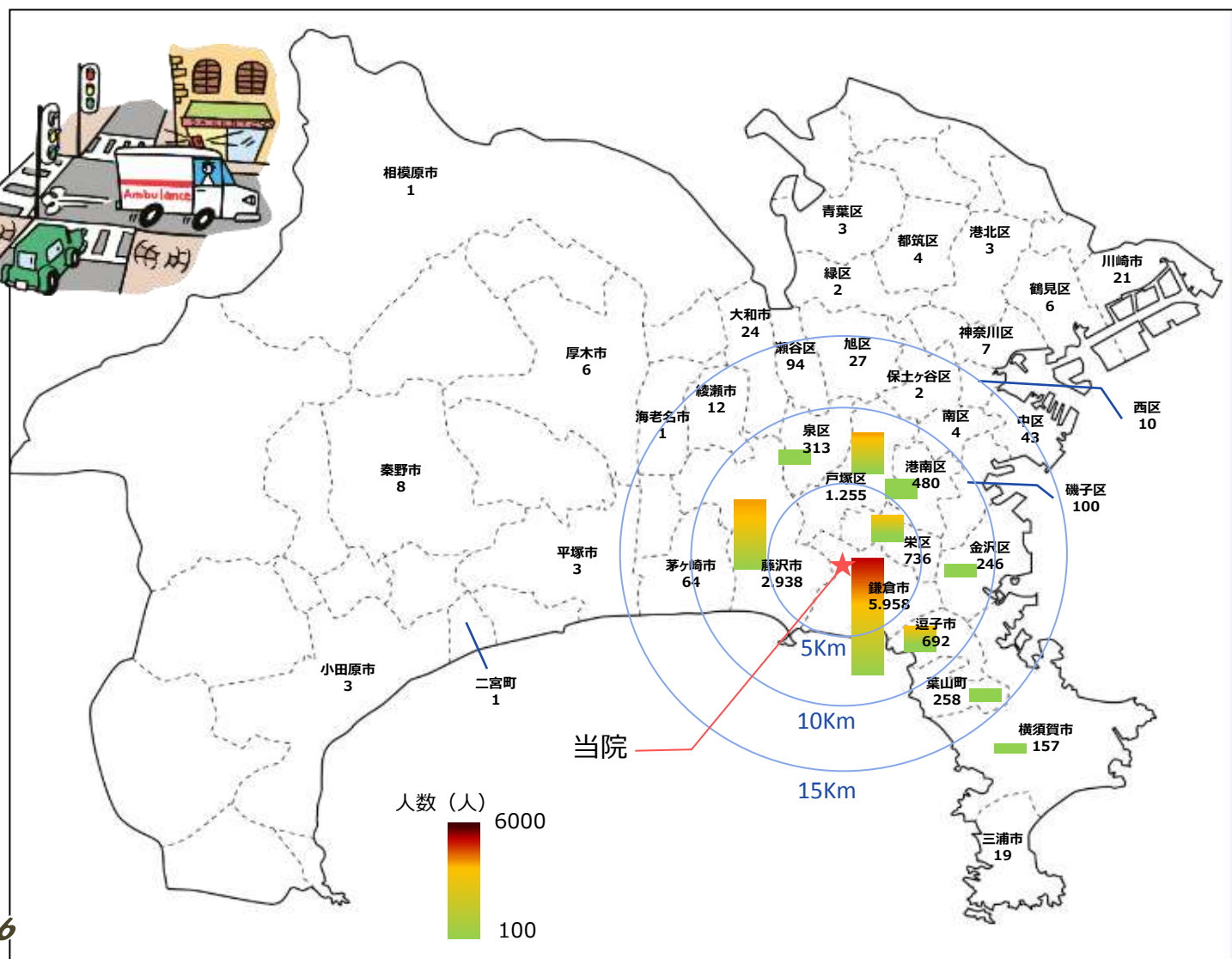
今号では、当院の救命救急センターへ救急車で搬入された、救急患者さんの受け入れの実績をお示いたします。

下記の図は昨年の平成24年度、当院で受け入れを行った救急車搬入患者さんを出所地区別に地図で表したものです。合計で13,612名の救急患者さんを受け入れました。地図をご覧ください。とわかるように、当院を中心とする半径15Km圏内の地域からの救急搬送が全体の約9割を占めています。当然のことながら、病院の近辺である鎌倉市と藤沢市からは、それぞれ全体の43.8%、21.6%と多くの救急患者さんを受け入れています。横浜市全域や、川崎市、大和市、小田原市といった、当院より遠方の地域からの救急患者さんも少なからず受け入れています。

これからも、当院は救急患者さんを絶対に断らないという理念のもと、病院全体が一丸となって救命救急センターを支え、これら関連地域の救急医療に貢献してまいりたいと思っています。



湘南鎌倉総合病院 救命救急センターへの地区別救急搬送件数 平成24年度 総合計 13,612名（県外47名を含む）



患者さんの声

1階エスカレーター正面にご意見の投書箱があります。今回、寄せられたご意見をご紹介します。また投書箱後ろの掲示板にて改善や投書の回答をさせていただきます。ご興味のある方は、掲示板をご覧ください。

オムツ替え台とベビーチェアが設置されている箇所 一覧

階	場所	オムツ替え台	ベビーチェア
B1F	一般	○	○
1F	小児科	○	○
	ER	○	○
	一般	○	×
	みんなのトイレ	○	○
2F	一般	×	○
	みんなのトイレ	○	○
3F	一般	×	○ (2)
	みんなのトイレ	○	○
4F	一般	×	○
	みんなのトイレ	○	○
5F	一般	×	○
	みんなのトイレ	○	○
6F	一般	×	○
	みんなのトイレ	○	○

ご意見

「通常トイレにもベビーチェア、オムツ替え台があると助かります。」
(H25年5月アンケートより抜粋
その他、ご意見より)

オムツ替え台 10台
ベビーチェア 15台
に増えました！！

ベビーチェアを
設置した個室には、
このようなシールが
貼ってあります

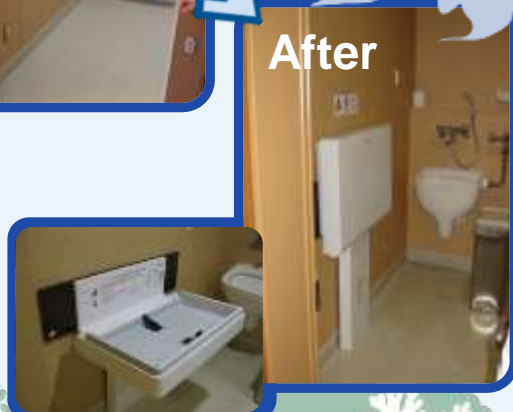


Before

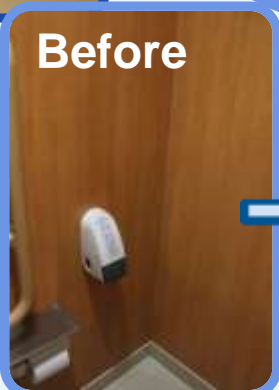


オムツ替え台
みんなのトイレ

After



Before



ベビーチェア
一般女性用トイレ

After



ぜひご利用ください！



医療法人 湘南鎌倉総合病院
 沖縄徳洲会

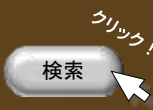


〒247-8533
 神奈川県鎌倉市岡本1370-1
 Tel : 0467-46-1717(代表)
 Fax : 0467-45-0190
 URL : <http://www.shonankamakura.or.jp>

ご来院される方にシャトルバスの運行も行っております。詳しくは院内で配布のシャトルバス時刻表が、ホームページをご覧ください。

また、「しょうなんメール」のバックナンバーもホームページでご覧いただけます。

湘南鎌倉総合病院



公共交通機関でお越しの方へ

下記は運賃がかかります。ご了承ください。

大船駅より来院される方

- 大船駅西口（大船観音側）
 - 1番乗場 神・船32 渡内経由
 公会堂前下車 「藤沢駅北口」行
 - 神・船101・102 公会堂前経由
 「城廻中村」行
 - 2番乗場 神・船34 「南岡本」行
 南岡本下車
- 大船駅東口交通広場ターミナル
 （湘南モノレール駅下バスターミナル）
 - 2番乗場 江・藤沢[弥]大船
 南岡本下車 武田薬品前～弥勒寺経由
 「藤沢駅」行
 - 江・南岡本経由 「四季の杜」行



藤沢駅より来院される方

- 藤沢駅北口（さいか屋・ビックカメラ側）
 - 4番乗場 神・船32 柄沢橋・渡内経由
 公会堂前下車 「大船駅西口」行
 - 9番乗場 江・藤沢[弥]大船
 南岡本下車 弥勒寺～武田薬品前経由
 「大船駅」行
- 藤沢駅南口（小田急デパート側）
 - 8番乗場 江・5301 アズビル前～
 湘南鎌倉総合病院下車 武田薬品前経由
 「湘南鎌倉総合病院」行

世界糖尿病デー イベント

湘南鎌倉 糖尿病週間フェスティバル
 開催！！

「糖尿病から私たちの未来を守ろう！」

日時 11月10日（日）10:00～15:00
 会場 長谷寺観音堂前
 （江ノ電「長谷駅」下車 徒歩5分）
 ※長谷寺の入山料300円がかかります。

ぜひお越しください